

# ユニバーサルデザインを意識した学校づくり

本校通信制課程では、ユニバーサルデザイン（以下UD）を意識した学校づくりを心がけています。昨年度は「授業のUD化」を意識してきましたが、今年度はさらに「教室環境のUD化」と「人的環境のUD化」の2つを追加し、3つの観点から生徒が学びやすい学校づくりを目指しています。

## ※ユニバーサルデザインとは？

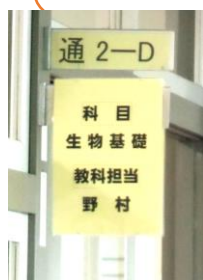
- ・誰もがわかりやすい授業
- ・誰もが落ち着いて勉強できる環境
- ・誰もが安心して過ごせるような環境や人間関係作り  
などなど

### ポイント

- ・黒板や教室の壁に余計な掲示物を貼らない。
- ・各教室に科目と教科担任の指標を貼る。
- ・ゴミ箱に分別の指標を貼る。

### ポイント

- ・生徒と教師がよい人間関係を築けるような声掛けをする。
- ・名前を呼ぶ際「くん」「さん」を付け人格を大切にする。
- ・意欲をもってレポートにとりくめるように励ましの言葉やコメントをレポートに書く。



教室環境の  
UD化

人的環境の  
UD化

授業のUD化

### ポイント

- ・本時の目標を明確に提示する。
- ・本時の流れを示し、進行状況を提示する。
- ・プロジェクタやiPadを活用し、興味・関心や理解を促す。
- ・チョークの色を使い分け重要なところを理解しやすくする。
- ・一つの説明で一回の行動をするような指示を心がける
- ・プリントの枚数を制限し、整理整頓しやすくする

## 授業のUD化の一例

地域	気候	植生
沖縄	【⑤】	亜熱帯多雨林
四国・九州	【⑥】	針葉樹林
東北地方	【⑦】	夏緑樹林
北海道東部	【⑧】	照葉樹林
岐阜県南部	【⑨】	

目標と流れを書くことで、学習目標を明確化し、流れを示すことで、見通しをもち、どの部分を学んでいるかがわかるように工夫する。

生徒に配付した授業プリントと全く同じ内容をスクリーンに表示することで(究極のUD化)、どここの部分の学習をしているのか、何を学んでいるのかははっきりわかるように工夫する。プロジェクタなどを活用し動画・画像を駆使して興味・関心を引き立てる。

プリントに書き出す内容は黄色のチョークに統一して、生徒が何をプリントに記入すればよいのか、わかるように工夫する。

このように本時の目標、本時の流れはすべての教員が共通認識として、授業で取り入れており、各教科で生徒が授業に興味・関心をもったり、生徒の理解を促す工夫をしたりしています。また、教科によっては黒板を「目標・流れ」「授業の内容」「板書する内容」の三分割にわけること、シンプルに誰が見てもわかるような工夫をしています。さらに生徒がもつ授業プリントを直接黒板に投影することで、究極のUD化を目指しています。この取り組みを今後もより研究し、継続して生徒によりよい学校づくりを目指していきたいと考えています。